

中橋製作所

高付加価値の真ちゅうや
砲金部品の加工のスペシャリスト

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



キャップ製品をはじめ多様な加工を手がける

主な事業内容

真ちゅうや砲金などの金属加工

主な取引先(納入先)

船舶関連部品製造会社、
測量製品製造業者

主な製品

水道部品、船舶用品、バルブ、
配管継手(エルボ)

業務内容

高付加価値製品の
加工で定評

中橋製作所は、創業から約60年にわたり船舶や水道用の真ちゅう、砲金部品の切削加工、鋳物加工を手がける。中橋修司代表は異色の経歴を持ち、かつては証券会社や外資系保険会社に勤務し、公認会計士をめざしていた。ところが、創業者である義父の中場勝師氏の仕事を手伝ううちに、ものづくりの魅力を再認識し、平成28年に事業を受け継ぐ。また、同時期にCNC旋盤と自作の治工具により異形材加工の作業工程を圧縮し、コスト削減と短納期を実現。このような迅速な対応力を背景とした高付加価値製品の加工で知られるようになる。さらに、最近では印鑑やペン立て、音響部品などの一般消費者向け真ちゅう品のネット販売やインスタグラムによる情報発信など意欲的な取り組みを始めている。

強み
異形物加工や
高度な面粗度で勝負

「当社の強みは、配管継手(エルボ)などの異形材加工への対応力と高度な面粗度へのこだわり」。中橋代表がこう説明する。同社の技術力は、義父から継承した匠の技と自身のCNC旋盤による加工ノウハウが支えとなっており、切削加工により研磨

加工と同等レベルの面粗度を実現する。また、工程削減に寄与する治工具の製作も得意とし、競争力のある見積額の提示につながっている。

最近では、真ちゅうや砲金部品の加工ノウハウを生かすかたちで顧客への提案にも力を入れている。その一例が、内装工事で使用される鉄製作業工具から真ちゅう製作業工具に切り替える提案。見栄えが良いうえ素材由来の比重の高さから使い勝手が良い、職人から好評を得ている。

業連携
ものづくり
協働グループを設立

同社が立地する大阪府東大阪市はものづくりの集積地であり、中小企業同士が連携する文化が根付いている。こうした土地柄を背景に、中橋代表の呼びかけで、平成29年にもものづくり協働グループ「SAW(創)」を設立。従業員5人以下の中小零細企業を中心に50人程度で構成され、2カ月に約1回のペースで勉強会や懇親会を開催している。ときには、参加者が持参した図面を前に熱い議論を交わすこともあるという。「SAWによるグループ連携により、ステンレスや樹脂など幅広い素材に対応できるようになった」と話す中橋代表。グループ連携を新たな強みとして、より幅広い受注につなげていく。

代表者あいさつ



代表
中橋 修司さん

当社は顧客の課題解決に果敢に挑みます。異形物加工や、高度な面粗度が要求される加工ノウハウを生かした高付加価値製品の要求に迅速に応えるのが信条です。「SAW」の活動により小さな企業同士の大きなネットワークができました。さらに仲間力を結集し、幅広い受注をめざします。

主な保有設備

- CNC旋盤 SC-150-II 中村留精密工業製 1台
- クシ刃式NC旋盤 尾崎製 1台
- 横フライス盤 1台
- ボール盤 吉田鉄工業ほか 3台
- タッピングマシン 大日工業製 2台

大阪
04

住 所／〒578-0935
東大阪市
若江東町1-6-9
T E L／06-6725-6864
F A X／06-6725-6864
創 業／昭和40年1月
設 立／－
資本金／－
従業員／－



高い面粗度の加工例



独自開発の2方爪と治具の例



<https://nakahashi1606.jimdofree.com/>